

1-単元 9

Where is the treasure?

単元目標

- ・進んで場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。
- ・道案内や、物の位置を尋ねたり答えたりする表現に触れる。また、活字体の小文字を読んだり書いたりすることに触れる。
- ・日本語と英語では道案内の仕方に違いがあることに気付く。

単元評価規準

- ・進んで場所を尋ねたり道案内をしたりしている。
- ・道案内や、物の位置を尋ねたり答えたりしている。また、活字体の小文字を読んだり書いたりしている。
- ・日本語と英語では道案内の仕方に違いがあることに気づいている。

表現

Where is the treasure? Go straight(for three blocks). Turn[right/left](at the third corner). You can see it on [right/left]. It's[on/in/under/by](the desk).

単元計画（3時間）

時	目標と主な活動 【 】＝誌面化されている活動	評価			
		コ	慣	気	評価規準＜方法＞
1	道案内や、物の位置を尋ねたり答えたりする表現に慣れ触れる。また、活字体の小文字を読んだり書いたりすることに触れる。 ○Small Talk：宝物 ○【W T】「さがしているものはなにかな。」 ○【P1】「ポインティングゲーム」 ○「コマンドゲーム（位置）」 ○【C】“It's on the desk.” ○Let's Read and Write「はじめの文字はなにかな。」		○		<ul style="list-style-type: none"> ・道案内や、物の位置を尋ねたり答えたりしている。 ＜行動観察・振り返りカード点検＞
2	日本語と英語では、道案内の仕方に違いがあることに気付く。 ○Small Talk：様々な施設 ○「What's this? ゲーム」 ○「ミッシングゲーム」 ○「コマンドゲーム（道案内）」 ○【C】“Where is the treasure?”			○	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語では道案内の仕方に違いがあることに気付いている。 ＜行動観察・振り返りカード分析＞
3	進んで場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。 ○Small Talk:校内の好きな場所 ○【C】“Where is the treasure?” ○「サイモンセズゲーム」 ○【P4】「友だちの道案内を聞いて、目的地をさがそう。」 ○【L4】「どこに行くのかを考えよう。」	○			<ul style="list-style-type: none"> ・進んで場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。 ＜行動観察・振り返りカード点検＞

1ー単元 9	Where is the treasure? 1/3 時間
目 標	道案内や、物の位置を尋ねたり答えたりする表現に触れる。また、活字体の小文字を読んだり書いたりすることにも触れる。
準 備	児童用テキスト、消しゴム、Small Talk 用の写真、教師用絵カード（前置詞、物）、ワークシート（Unit 7-6）、デジタル教材、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準備物
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ○Small Talk：宝物 <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・宝物について話す。顔の表情豊かにジェスチャーを付けて児童が理解できるように話す。 	宝物やその写真など
○【Let' s Watch and Think】p.52 「さがしているものはなかな。」 <ul style="list-style-type: none"> ・p.52にあるものの名前を確認する。 ・音声を聞き、登場人物が探しているものを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この活動は位置を表す表現 on/in/under/by を繰り返し聞かせることを狙いとしている。慣れてきたら、指導者が Where is ~? と質問し、児童に答えさせてもよい。 ・clock や hat, map は on the wall となることに注意して指導を行う。 	児童用テキスト デジタル教材 教師用絵カード（物）
○【Let' s Play 1】p.51 「ポインティングゲーム」 <ul style="list-style-type: none"> ・児童はペアになり、指導者が言ったものを誌面の中から協力して探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者は、【Let' s Watch and Think】で扱われなかったものを中心に、その名前と位置を言う。 ・慣れてきたら、指導者がものの名前を言って、児童がその位置を言うなどしてもよい。 	児童用テキスト デジタル教材 教師用絵カード（物）
○「コマンドゲーム（位置）」 <ul style="list-style-type: none"> ・児童は指導者が言ったことを復唱しながら、その場所に消しゴムを置く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者は児童に消しゴムを机の上に置くように指示する。 ・指導者は Put your eraser on your notebook. などと言う。 ・指導者も実際に自分の消しゴムを置き、答え合わせをする。 ・位置関係の語は習得に時間がかかるため、何度も繰り返して使うことで慣れるようにする。 	消しゴム 児童用テキスト デジタル教材 教師用絵カード（前置詞）
○【Let' s Chant】p.52 “It' s on the desk.” <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞き、絵カードを見ながら言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れてきたらスピードを変えて意欲を高める。 	デジタル教材 教師用絵カード（前置詞、物）
○Let' s Read and Write① <ul style="list-style-type: none"> ・8つのイラストの語を確認してから、その語の最初の小文字を5つの文字の中から選んで4線に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート（Unit 7-7）の2の問題のみ行う ・ワークシートにある8つのイラストの語を児童と確認する。それらの語の最初の音のアルファベットの文字を5つの中から選び、4線にその文字を書かせる。アルファベットの小文字を機械的に書かせるのではなく、単語の中の1文字として書かせるようにする。 	デジタル教材 ワークシート（Unit 7-6）
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

評価

- ・道案内や、物の位置を尋ねたり答えたりしている。【慣】〈行動観察・振り返りカード点検〉
- ・活字体の小文字を読んだり書いたりしている。【慣】〈行動観察・振り返りカード点検〉

1ー単元 9	Where is the treasure? 2/3 時間
目 標	日本語と英語では道案内の仕方に違いがあることに気付く。
準 備	児童用テキスト, Small Talk 用の写真, 教師用絵カード (建物), デジタル教材, ワークシート (Unit 7-7), 振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準備物
【 】＝誌面化されている		
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ○Small Talk : 様々な施設 <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 ・指導者が学校に来る際に通ったり, 見かけたりする施設について話す。一方的に話すのではなく, 児童に質問をし, 児童を巻き込むように話す。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 	施設の写真
○「What's this? ゲーム」 <ul style="list-style-type: none"> ・児童は建物の絵カードの一部から, それが何か日本語で答える。 ・児童は英語での建物の言い方を知る。 (「ミッシングゲーム」に入れ替えてもよい。)	<ul style="list-style-type: none"> ・p. 54 の誌面にある建物の教師用絵カードを一瞬だけ見せたり, その一部だけを見せたりしながら, その建物が何か尋ねる。 ・誌面にあるのは library, police station, post office, supermarket, fire station, bookstore, department store, gas station の 8 つの単語だが, この学年の児童にとって, 小学校で建物の単語を押さえられるのはこの单元だけなので, 必要に応じて単語を加える。 	教師用絵カード (建物)
○「コマンドゲーム (道案内)」 <ul style="list-style-type: none"> ・Go straight. は足踏み, Turn right. は右を向く, Turn left. は左を向く, Stop で止まるという動作を示す ・児童は目をつぶったまま, 指導者の言う指示を繰り返して言いながら, その動作を行う。指導者の Stop! の掛け声で動作をやめ, 目を開けて, 向いている方向で正誤を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションをして, 進め方を理解させるようにする。最初は児童が命令を聞き取りやすいように, ゆっくりはっきり発音する。 ・児童に目をつぶらせ, 指導者は確認した動作の指示をする。 	
○【Let's Chant】p. 52 “Where is the treasure?”	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れてきたらスピードを変えたり, 物や場所を児童に選ばせたりして意欲を高める。 	デジタル教材
○Let's Read and Write② <ul style="list-style-type: none"> ・8つのイラストの語を確認してから, その語の最初の小文字を5つの文字の中から選んで4線に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート (Unit 7-7) の2の問題のみ行う。 ・ワークシートにある8つのイラストの語を児童と確認する。それらの語の最初の音のアルファベットの文字を5つの中から選び, 4線にその文字を書かせる。アルファベットの小文字を機械的に書かせるのではなく, 単語の中の1文字として書かせるようにする。 	デジタル教材 ワークシート (Unit 7-7)
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

評価

- ・日本語と英語では道案内の仕方に違いがあることに気づいている。【気】〈行動観察・振り返りカード分析〉

1-単元 9	Where is the treasure? 3/3 時間
目 標	進んで場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。
準 備	児童用テキスト、消しゴム、Small Talk用の校内地図、教師用カード（位置、物）、デジタル教材、ワークシート（Unit 7-8）、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準備物
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ○Small Talk:校内の好きな場所 <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・一方的に話さず、児童に質問したりしながら児童を巻き込むようにする。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 	校内地図など
○「サイモンセズゲーム」 <ul style="list-style-type: none"> ・“Simon Says” がついていない指示のときに動作をしてしまった児童は座る。最後まで座らなかった児童の勝ち。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が“Simon says” に続けて言った動作をする。 ・(Simon says) go straight. / turn right. / turn left. / stop. などの動作の指示を出す。 	
○【Let' s Play 4】 p. 54 「友達の道案内を聞いて、目的地をさがそう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・p. 54 の地図を使い、ペアになって活動を行う。一方が目的地を決めて、その目的地に向かうための道案内をする。もう一方は相手の指示通りに誌面上を移動し、相手が案内した建物が何かを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進め方の例を示す。 ・道案内の音声を聞いただけでは上手く進めない児童もいると予想されることから、消しゴムなどの具体物をコマにして進めさせるとよい。 	児童用テキスト 消しゴム デジタル教材
○【Let' s Listen 4】 p. 56. 57 「どこに行くのかを考えよう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・1 つめの道案内の音声を聞いて、案内の通りに地図上を進む。目的地にたどりついたら、そこにあるものの名称を全員で確認し、そこにあるものの頭文字をワークシートの空欄に書きこむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに、地図を見ながら、どこにどのような道があるか、また、どこにどのようなものがあるか、指導者と児童で話し合い、共有しておく。 ・ワークシートの空欄がすべて埋まると単語が完成し、宝箱に宝物が増えて行くようになっている。 	児童用テキスト ワークシート デジタル教材
○Let' s Read and Write③ <ul style="list-style-type: none"> ・8つのイラストの語を確認してから、その語の最初の小文字を5つの文字の中から選んで4線に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート(Unit 7-8)の2の問題のみ行う。 ・ワークシートにある8つのイラストの語を児童と確認する。それらの語の最初の音のアルファベットの文字を5つの中から選び、4線にその文字を書かせる。アルファベットの小文字を機械的に書かせるのではなく、単語の中の1文字として書かせるようにする。 	デジタル教材 ワークシート (Unit 7-8)
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

評価

- ・進んで場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。【コ】 〈行動観察・振り返りカード分析〉